

★ 第二次医療支援者決定! ★

西原医師（内科部長・沼田診療所長）と 信野事務次長が第2陣の支援に出発します

今回の大震災の死亡者・行方不明者は、2万4千人を超えることが報道されており、避難所に非難できた方々も寒いなか窮屈なスペースの中で命を縮めるような状態に置かれています。せっかく助かった命が絶たれることがないように、医療・介護支援が急がれています。

◆4月3日（日）14時15分に共立病院玄関前を出発

今回、第二次の医療支援募集に西原先生、信野事務次長が手を挙げられ4月3日に出発、前泊、4日から9日の朝現地出発まで医療支援にいかれます。みんなで2名が現地で支援活動に全力をつくせるようにバックアップしようではありませんか。第1陣支援では、広大大学院に行かれた大谷先生、三田尾先生、ウォン先生があすなろ生協診療所外来のバックアップ支援に入られました。

★その後も次々に支援ボランティアの希望者がでてきています

西原先生、信野事務次長以外に、事務職4名、ケアマネージャー1名から支援希望の手が挙がっています。また、安佐医師会が募集しているJMAT（日本医師会災害医療チーム）に、医師1名、看護師1名など希望者がでてきています。

さらに、第3次、4次と支援は続いていくと思います。希望者を事前に登録しておいて、必要になった時に具体化したいと思います。希望者がありましたら職場長を通じて支援対策本部（内田）までお知らせください。なお、これは業務ではありませんので、ご自身の意思とご家族の同意があってこそ具体化できるものです。その点をご承知の上、手あげをお願いします。

◎ 支援物資の募集再開 ◎

必要な支援物資のリストを前回のニュースでお知らせしています。多くの方に声をかけていただき、引き続き4号館に集中したいと思います。次の物資輸送は、新潟医療生協内の日本医療福祉生協連東日本大震災支援物資センターを経由して宮城、福島の子協に届ける事を検討したいと思います。

物資支援の運転手を募集します。（広島⇒日本海側⇒新潟医療生協までと長距離となります）

★ 配布したポスターと募金箱は…………

4月7日世界保健デーの街頭行動のときに使用するためのものでした。しかし、事業所で自由にご活用ください。